

取り付け作業(つづき)

基本動作の確認

取り付け後、下記手順に従い動作確認を行ってください。動作しない場合は、25～26ページの「故障かな？と思ったら」を確認して下さい。

ステップ 1 動作確認前の準備

- パーキングブレーキをしっかりと引き、シフトレバーをPレンジにする。
- エンジンキーを携帯し、全てのドア、窓を閉め車の外に出る。(エアコン以外の電装品はOFFにする。) またルームランプが消灯していることを確認する。
- リモコンの(RST)ボタンを長押しし、電源を入れる。(電源がOFFになっている場合)

ステップ 2 エンジンを始動させます。

リモコンの(FUNC)ボタンを「ボッ」と音が鳴るまで押し、を点滅表示させ、(SET)ボタンを「ブッ」と音が鳴るまで押して下さい。その後エンジンが始動するか確認して下さい。このとき車両側は表示しません。エンジンがかかるとリモコンの液晶部にが表示し、「エンジンを始動しました。」と発声します。



ステップ 3 シフトセンサーの動作を確認します。

メモ エンジンキーを差さないとシフトレバーが動かせない車もあります。その場合は、エンジンキーをACCの位置まで回して、確認して下さい。

エンジンがかかっている状態で、エンジンキーを差さずにフットブレーキをしっかりと踏み、シフトレバーをゆっくりPレンジからRレンジへ動かして下さい。このときエンジンが止まるか確認して下さい。

エンジンが止まらない場合は、シフト検出がうまく行われていません。フットブレーキ検出方式へ変更して下さい。詳細は、21ページの「フットブレーキ検出方式への変更」を確認して下さい。

以上で基本動作の確認は、終了です。

仕上げ

ステップ 1 配線したハーネス類を整理します。

 警告	・ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
 注意	・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。固定が不十分だと脱落し、事故の原因となります。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンドなどを使用して、確実に固定して下さい。

ステップ 2 外したカバーなどを元に戻します。

 警告	車のカバーや内張りなどで配線類を挟み込まないようにして下さい。断線やショートし、火災・故障の原因となります。
---	--

ステップ 3 コーションラベルを貼り付けます。

 危険	必ずエンジンルーム内の目立つ場所に貼って下さい。ボンネットを開けて作業している際に、誤って始動操作した場合、重大な事故の原因となります。
---	--

エンジンルーム内の目立つ場所に貼って下さい。貼り付ける際には、汚れや油分などをきれいに除去して下さい。

ステップ 4 Guardog V-1/V-2 取付・取扱説明書の「設定内容確認表」に必要事項を記入します。

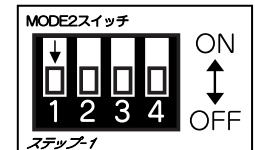
以上で取り付け作業は、終了です。

フットブレーキ検出方式への変更

シフト検出方式の変更方法です。リモコン操作によるエンジン始動後、シフトレバーをPレンジからRレンジへと動かしてもエンジンが停止しない場合に変更します。

ステップ 1 Guardog V-1/V-2 本体のMODE 2 スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をOFFにします。

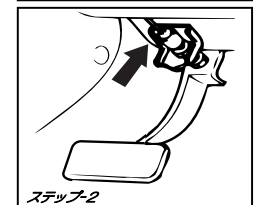
すでに付属の安全センサーケーブルが、エンジンスターターキット本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行ってください。



ステップ 2 車のフットブレーキスイッチを探します。

フットブレーキスイッチは、ブレーキペダルの根元付近にあります。

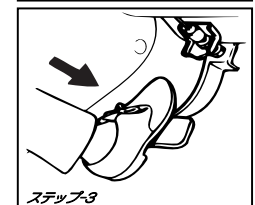
メモ フットブレーキとは、フット式パーキングブレーキのことではありません。



ステップ 3 ブレーキペダルを踏んだときに12Vを示すコードを探します。

注意 必ずテスターを使用して下さい。

フットブレーキスイッチから出ているコードの内、ブレーキペダルを踏まないときに0V、踏んだときに12Vを示すコードをテスターで探して下さい。



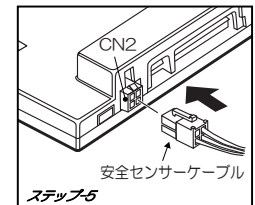
ステップ 4 安全センサーケーブルの白コードを接続します。

注意 エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックして下さい。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

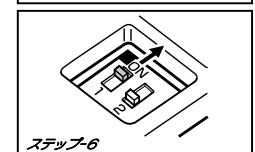
安全センサーケーブルの白コードをステップ3で探したコードに付属のエレクトロタップ(赤色)で接続します。

ステップ 5 エンジンスターターキット本体へ接続します。

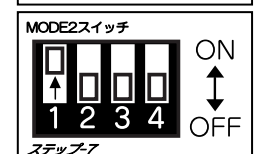
エンジンスターターキット本体の安全センサーケーブル差込口(CN2)へ安全センサーケーブルのコネクターを差し込みます。



ステップ 6 エンジンスターターキット本体のMODE スイッチメニューの1「シフト検出」をONにします。



ステップ 7 Guardog V-1/V-2 本体のMODE 2 スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をONにします。



ステップ 8 リモコンで始動したエンジンが、フットブレーキを踏んだときに停止するか確認します。

- ①車に乗り、リモコンでエンジンを始動して下さい。
- ②フットブレーキを踏んだときに、エンジンが停止することを確認して下さい。

ステップ 9 配線したハーネス類を整理します。

 警告	・ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
 注意	・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。また車のカバーや内張りなどで配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンドなどを使用して、確実に固定して下さい。